

【No. 1】 工事監理と施工管理に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 施工図等の検討及び報告、仕上げ見本の検討は工事監理業務である
2. 施工管理とは、施工者の責任において設計図書どおりの目的物を顧客に引き渡すまでの管理業務である
3. 工事監理とは、品質・工程・原価・安全管理などを、自主的に行うことである
4. 施主の立場に立って、工事が設計図書のとおり実施されているかどうかを確認する業務は工事監理業務である

答. 3

【No. 2】 施工管理に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 品質管理は、川上から川下まで一貫して行うことが大切である
2. バーチャート工程表は、各作業の所要日数と施工日数がわかりやすいが、各作業の工期に対する影響度の把握が難しい
3. 原価管理は、実行予算を立て、適切に運営する経済性の管理である
4. 一般的な建設業における労働災害は、全産業の約 50%を占めており、増加傾向にある

答. 4

【No. 3】 積算・見積りに関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 部分別見積りとは、複合単価または合成単価で記載する 경우가多く、エレメント方式ともいわれている
2. 概算見積りとして、部分別に床・壁・天井毎の複合単価によって工事金額を算出する方法がある
3. 建築数量積算基準では、数量は原則として設計数量をいう

4. 所要数量とは、図面に寸法の記載がないもので、計画または推定した施工寸法による数量をいう

答. 4

【No. 4】 環境や安全への配慮に関する次の記述のうち、**最も適当なもの**はどれか。

1. 瑕疵とは「きず」という意味であるが、法律上は何らかの欠点や欠陥があることをあらわす。民法では「契約不適合」と呼ばれている
2. PL法（製造物責任法）とは、製造物の欠陥によって損害を被った場合に、被害者は販売店に対して損害賠償を求めることができる法律である
3. 工事監理における安全管理では、「労働安全衛生法」の順守と労働者の安全に細心の注意を払った管理が必要である
4. 省エネ法の改定により、規模または請負金額に関係なく、全ての建築物において省エネ基準への適合性判定が必要になった

答. 1

【No. 5】 解体撤去工事に関する次の記述のうち、**最も不適當なもの**はどれか。

1. 建設系廃棄物はリサイクルできるものはないため、すべて埋立処分を行う必要がある
2. 蛍光灯については水銀使用製品産業廃棄物となるため、専門の許可を得た収集及び処分業者にて処理を行う
3. アスベスト（石綿）が建材に含有されていないか、事前の調査を行う必要がある
4. 床材解体の場合には、電気配線や給排水管などを確認し、解体作業を行う必要がある

答. 1

【No. 6】 タイル工事の工法に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 壁 ・ ・ ・ ・ 接着剤張り
2. 天井 ・ ・ ・ ・ 敷モルタル張り
3. 床 ・ ・ ・ ・ 接着剤張り
4. 壁 ・ ・ ・ ・ モザイクタイル張り

答. 2

【No. 7】 金属工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 下地コンクリートなどに金属アンカーなどで取り付ける場合、商業施設ではあと施工アンカーボルト工法の使用が多い
2. 軽量鉄骨天井において、天井ふところ高さ 1,800mm 以下の場合、振れ止めを省略できる
3. 高さ 6m を超える天井の部分で面積 200 m² を超えるものを含むもの、かつ、単位面積が 2kg を超えるものは、天井脱落防止のための構造検証が必要である
4. 外部や水回りでは腐食防止のため、ステンレス製品が使用されている

答. 2

【No. 8】 左官工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. セメントモルタル塗りは、骨材・混和材料の配合に注意する
2. 石こうプラスターは水和反応により、練り直し手の使用はできない
3. セメントモルタル塗りは、タイル張りの下地に用いられる
4. 石こうプラスター塗りは、厨房等の多湿で通気不良の場所に適している

答. 4

【No.9】電気設備工事に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 電力設備工事 ・ ・ ・ ・ ・ 電灯設備
2. 通信・情報設備工事 ・ ・ ・ インターネット受信設備
3. 電気用品安全法 ・ ・ ・ ・ ・ P S Eマーク
4. 電気工事士法 ・ ・ ・ ・ ・ F C U方式

答. 4

【No.10】ガラスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 低膨張防火ガラス
・・・遮熱性に優れ、特定防火設備や防火設備用のガラスとして使われている
2. 強化ガラス
・・・フロート板ガラスを約 700 度まで加熱し、ガラス表面に空気を吹き付け、均一に急激に冷却、表面に圧縮層を持たせたガラス
3. 合せガラス
・・・2 枚の板ガラスに透明な中間膜を挟み加熱圧着したもの。衝撃による破損では、膜により破片の飛散防止ができる
4. 低反射ガラス
・・・ホテルの展望スペース、レストランなど眺望を売り物にする場所で、夜景に自分の姿や室内が映り込みにくくする効果がある

答. 1

【No.11】下図は、ひき板（ラミナ）を繊維方向が層ごとに直角に交わるように貼り合わせた大判の木質パネル建材である。この建材の名称に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. LVL
2. CFD
3. CFT
4. CLT



答. 4

【No.12】 建材の一般的な呼称と名称との関係に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. カラー鉄板・・・着色亜鉛鉄板
2. ベニヤ・・・プライウッド
3. みかげ石・・・花崗
4. ALC・・・押出成形セメント板

答. 4

【No.13】 建築材料の環境配慮に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 省エネルギーの観点から、断熱材の使用や選定、開口部に設けるガラスの熱還流率の低いものや、日射熱取得率の低いものを選定することが重要である
2. 建築材料や設備機器には、地球温暖化ガスが含まれている恐れがある
3. 保水性や透水性が高い材料や日射反射率が小さい材料を用いることは、ヒートアイランド制御になる
4. 持続可能な森林から算出された木材の使用は、再生可能な材料の使用であるといえる

答. 3

【No.14】 維持管理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. スクラップ&ビルドという考え方から、資産を保全しながら長期間活用するストックマネジメントへ社会全体がシフトしている
2. 商業施設の維持管理業務の中心は、清掃管理と設備機器・装備品の破損管理である
3. 定期的な建物診断を行い、劣化状況を適切に判断し、計画的な修繕を行うことは、建物を経済的に長持ちさせるためには重要な管理方法である
4. 建物などの償却期間は、省令により法定耐用年数が定められており、その期間に準じて建て替えされている

答. 4

【No.15】 防犯対策に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. ICカード・タグ・・・ICカードを近づけて、開錠できるシステム
2. 鍵管理システム・・・ピッキング防止システム
3. 電気錠・・・・・・・・・・テンキー、カード式
4. ゲートシステム・・・商業施設の出入り管理

答. 2